

# 鬼石中だより

News from Onishi Junior High School

自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校  
学校だより 第10号  
令和7年1月9日  
文責：校長 五十嵐

## \* 新年のご挨拶とともに \*

保護者の皆様、地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、いよいよ3学期がスタートいたしました。短い冬休みも終わり、子どもたちの元気な声が学校に響き渡り、活気あふれる日々が始まっています。2学期までには、皆様のご尽力のおかげをもちまして、様々な学校行事を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

3学期は、卒業を控えた3年生にとっては、残りの学校生活を精一杯楽しむとともに、次のステップに向けた準備を進めていく大切な時期です。1、2年生にとっては、次の学年に向けて基礎学力を定着させ、さらなる成長を遂げるための大切な時期となります。

1月7日(火)の始業式では、生徒たちへ坂村真民の詩「鳥は飛ばねばならぬ」を紹介しました。

鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ  
怒涛(どとう)の海を 飛び行く鳥のように  
混沌の世を 生きねばならぬ  
鳥は本能的に 暗黒を突破すれば  
光明の島に着くことを知っている  
そのように人も 一寸先は闇ではなく  
光であることを 知らねばならぬ  
新しい年を迎えた日の朝 私に与えられた命題  
鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ



この詩の一節にあるように、どんなに困難な状況にあっても、私たちは自分の力でそれを乗り越え、「光明の島」に向けて未来を切り開いていくような、強い心を持った生き方を希望を持って貫いていこうと伝えました。

この一年、世界は大きく変化し、子どもたちの生活にも様々な影響が出ていることと思います。しかし、どんな時代であっても、子どもたちは未来を担う存在です。強い心と希望を持ち、どんな困難にも立ち向かうことができるように、教職員一同、全力で子どもたちの成長をサポートしてまいります。

本年も、鬼石中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## \* 校内書き初め大会 1/7 \*

1月7日(日)に校内書き初め大会を開催しました。体育館に響き渡る太鼓の音を合図に、全生徒がそれぞれの思いを込めて筆を走らせました。静寂に包まれた体育館で、美しい文字が、見事に紙上に現れていく様子は、見ている私たちを感動させました。

書き初めは、単に文字を書くということではありません。それぞれの文字に込められた意味を考え、それを美しい文字として表現する、日本の伝統文化で、その起源は平安時代にまで遡ります。書き初めが庶民の文化として定着したのは江戸時代のことですが、いずれにしても長い歴史を持つ由緒ある新年の行事なのです。

生徒たちは、それぞれの目標や願いを心に秘めながら、一筆一筆丁寧に書き上げていました。自分自身の内面と向き合い、将来への希望を育む貴重な機会となったことと思います。

<入賞者の紹介(敬称は省略)>

1年	金賞	銀賞	銅賞
2年	金賞	銀賞	銅賞
3年	金賞	銀賞	銅賞



※入賞者の作品は1月28日(土)29日(日)に市民ホールで開催される藤岡市小中図工・美術・書道展に出品されます。